

北信州能力開発センター 介護職員初任者研修 情報開示

研修機関情報	法人情報	法人名称	職業訓練法人 中高職業訓練協会
		所在地	長野県中野市大字中野 1457-1
		代表者名	会長 春日 勉
	研修機関情報	事業所名称	北信州能力開発センター
		所在地	長野県中野市大字中野 1457-1
		理念	地域産業を担う人材育成と人づくりを通じたコミュニティの形成へ積極的な支援を行います。
		学則	別紙 1 参照
研修施設・設備	地上 2 階 研修室、0A 室、実技室、多目的ホール。		
研修事業情報	研修の概要	受講対象者	離職者で、再就職訓練にて本事業所を希望し選考試験を通過したもの
		研修のスケジュール	平成 30 年 7 月 5 日～10 月 4 日 ※3 ヶ月の内 165 時間が介護職員初任者研修のプログラムです。別紙 6 参照
		定員	15 名
		指導者数	3 名～20 名
		研修受講の流れ	管轄のハローワークへの申し込み
		費用	受講料 : 無料 テキスト : 12,725 円
		留意事項	本講座は離職者が対象。また、当訓練では介護職員初任者研修のほか、パソコンの基礎等も学習でき総訓練時間は 354 時間。
	研修責任者	責任者	会長 春日 勉
	研修カリキュラム	科目別シラバス・特徴	別紙 2 参照
		科目別時間数	別紙 3 参照
		科目別担当教官名	別紙 4 参照
		修了評価の方法	研修の全課程を履修したものに対して長野県介護職員初任者研修指定基準の「修了時の評価ポイント」に沿って、各受講者の知識・技術等の習得度を評価し、かつ筆記試験を実施し認定を行う。
	実習施設		別紙 5 参照
講師情報		別紙 4 参照	
実績情報		平成 28 年 6 月 21 日～9 月 20 日受講者 10 名修了者 9 名 平成 29 年 7 月 5 日～10 月 4 日受講者 11 名修了者 11 名	
連絡先	申し込み・資料請求先	北信州能力開発センター TEL 0269-23-3005 FAX 0269-23-3835	
	法人の苦情対応・事業所の苦情対応	中高職業訓練協会 事務長 田中 健太郎 TEL 0269-23-3005 FAX 0269-23-3835	

## 学 則

①事業者の名称・所在地	職業訓練法人 中高職業訓練協会 長野県中野市大字中野 1457-1 中野地域職業訓練センター
②研修事業の名称	職業訓練法人 中高職業訓練協会 北信州能力開発センター 介護職員初任者研修科
③研修の日程	別紙 6 参照
④事業の目的及び方法	現在の高齢化社会において多様化する介護ニーズに対応するため 介護知識・技能・技術を修得した人材を養成することを目的とする。ま た、本講座を就業者支援訓練として実施することから、介護人材の確保、 就業者支援として社会貢献するものとする。なお、研修は通学制とする。
⑤研修の実施場所	長野県中野市大字中野 1457-1 中野地域職業訓練センター 1 階・2 階
⑥講師名	別紙 4 参照
⑦使用テキスト	介護職員初任者研修テキスト（財介護労働安定センター）
⑧研修カリキュラム	別紙 2 参照
⑨受講資格	離職者で、離職者等再就職訓練にて本事業所を希望し選考試験を通過し たもの。介護職員として従事しようとするもの。
⑩広告の方法	ホームページ、ハローワーク等にて。
⑪情報開示の方法	下記ホームページにおいて情報公開する。 ホームページアドレス： <a href="http://www.nakanotc.ac.jp/">http://www.nakanotc.ac.jp/</a>
⑫受講手続	ハローワークからの募集・申込みにより受付。指定日に面接を行い文書 にて決定通知を送付。
⑬本人確認方法	戸籍謄本・住民票・健康保険証・運転免許証・パスポート等で行う。
⑭受講料	受講料：無料 テキスト：12,725 円
⑮研修修了の認定方法	研修の全課程を履修したものに対して長野県介護職員初任者研修指定 基準の「修了時の評価ポイント」に沿って、各受講者の知識・技術等の 習得度を評価し、かつ筆記試験を実施し認定を行う。
⑯補講の方法	原則として振替補講、個別対応で実施する。補講費用は無料。
⑰研修責任者	氏名：春日 勉 所属：職業訓練法人 中高職業訓練協会 役職：会長
⑱科目免除の取扱い	本研修は離職者等再就職訓練として実施するため、科目の免除は行わな い。
⑲実習施設等実習先	別紙 5 参照

## 科目別シラバス

(1) 職務の理解 (6時間)	
多様なサービスの理解	○介護保険サービス (居宅、施設)、○介護保険外サービス
介護職の仕事内容や働く現場の理解	○居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容 ○居宅、施設の実際のサービス提供現場の具体的なイメージ (視聴覚教材の活用、現場職員の体験談等) ○ケアプランの位置づけに始まるサービスの提供に至るまでの一連の業務の流れとチームアプローチ・他職種、介護保険外サービスを含めた地域の社会資源との連携
(2) 介護における尊厳の保持・自立支援 (9時間)	
人権と尊厳を支える介護	人権と尊厳の保持 ○個人として尊重、○アドボカシー、○エンパワメントの視点、○「役割」の実感、○尊厳のある暮らし、○利用者のプライバシーの保護 ICF ○介護分野におけるICF QOL ○QOLの考え方、○生活の質 ノーマライゼーション ○ノーマライゼーションの考え方 虐待防止・身体拘束禁止 ○身体拘束禁止、○高齢者虐待防止法、○高齢者の養護者支援 個人の権利を守る制度の概要 ○個人情報保護法、○成年後見制度、○日常生活自立支援事業
自立に向けた介護	自立支援 ○自立・自律支援、○残存能力の活用、○動機と欲求、○意欲を高める支援、○個別性/個別ケア、○重度化防止 介護予防 ○介護予防の考え方
(3) 介護の基本 (6時間)	
介護職の役割、専門性と他職種との連携	介護環境の特徴の理解 ○訪問介護と施設介護サービスの違い、○地域包括ケアの方向性 介護の専門性 ○重度化防止・遅延化の視点、○利用者主体の支援姿勢、○自立した生活を支えるための援助、○根拠のある介護、○チームケアの重要性、○事業所内のチーム、○多職種から成るチーム 介護に関わる職種 ○異なる専門性を持つ多職種の理解、○介護支援専門員、○サービス提供責任者、○看護師等とチームとなり利用者を支える意味、○互いの専門職能力を活用した効果的なサービスの提供、○チームケアにおける役割分担
介護職の職業倫理	○専門職の倫理の意義、○介護の倫理 (介護福祉士の倫理と介護福祉士制度等)、○介護職としての社会的責任、○プライバシーの保護・尊重
介護における安全の確保とリスクマネジメント	介護における安全の確保 ○事故に結びつく要因を探り対応していく技術、○リスクとハザード 事故予防、安全対策 ○リスクマネジメント、○分析の手法と視点、○事故に至った経緯の報告 (家族への報告、市町村への報告等)、○情報の共有 感染対策 ○感染の原因と経路 (感染源の排除、感染経路の遮断)、○「感染」に対する正しい知識

介護職の安全	<p>介護職の心身の健康管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○介護職の健康管理が介護の質に影響、○ストレスマネジメント、○腰痛の予防に関する知識、○手洗い・うがいの励行、○手洗いの基本、○感染症対策</li> </ul>
(4) 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (9時間)	
介護保険制度	<p>介護保険制度創設の背景及び目的、動向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ケアマネジメント、○予防重視型システムへの転換、○地域包括支援センターの設置、○地域包括ケアシステムの推進</li> </ul> <p>仕組みの基礎的理解</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○保険制度としての基本的仕組み、○介護給付と種類、○予防給付、○要介護認定の手順</li> </ul> <p>制度を支える財源、組織・団体の機能と役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○財政負担、○指定介護サービス事業者の指定</li> </ul>
医療との連携とリハビリテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医行為と介護、○訪問看護、○施設における看護と介護の役割・連携、○リハビリテーションの理念</li> </ul>
障害者自立支援制度およびその他制度	<p>障害者福祉制度の理念</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○障害の概念、○ICF (国際生活機能分類)</li> </ul> <p>障害者自立支援制度の仕組みの基礎的理解</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○介護給付・訓練等給付の申請から支給決定まで</li> </ul> <p>個人の権利を守る制度の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○個人情報保護法、○成年後見制度、○日常生活自立支援事業</li> </ul>
(5) 介護におけるコミュニケーション技術 (6時間)	
介護におけるコミュニケーション	<p>介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○相手のコミュニケーション能力に対する理解や配慮、○傾聴、○共感の応答</li> </ul> <p>コミュニケーションの技法、道具を用いた言語的コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○言語的コミュニケーションの特徴、○非言語コミュニケーションの特徴</li> </ul> <p>利用者・家族とのコミュニケーションの実際</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○利用者の思いを把握する、○意欲低下の要因を考える、○利用者の感情に共感する、○家族の心理的理解、○家族へのいたわりと励まし、○信頼関係の形成、○自分の価値観で家族の意向を判断し非難することがないようにする、○アセスメントの手法とニーズとデマンドの違い</li> </ul> <p>利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○視力、聴力の障害に応じたコミュニケーション技術、○失語症に応じたコミュニケーション技術、○構音障害に応じたコミュニケーション技術、○認知症に応じたコミュニケーション技術</li> </ul>
介護におけるチームのコミュニケーション	<p>記録における情報の共有化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○介護における記録の意義・目的、利用者の状態を踏まえた観察と記録、○介護に関する記録の種類、○個別援助計画書 (訪問・通所・入所、福祉用具貸与等)、ヒヤリハット報告書、○5W1H</li> </ul> <p>報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○報告の留意点、○連絡の留意点、○相談の留意点</li> </ul> <p>コミュニケーションを促す環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○会議、○情報共有の場、○役割の認識の場 (利用者と頻回に接触する介護者に求められる観察眼)、○ケアカンファレンスの重要性</li> </ul>
(6) 老化の理解 (6時間)	
老化に伴うこととからだの変化と日常	<p>老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○防衛反応 (反射) の変化、○喪失体験</li> </ul> <p>老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○身体的機能の変化と日常生活への影響、○咀嚼機能の低下、○筋・骨・関節の変化、○体温維持機能の変化、○精神的機能の変化と日常生活への影響</li> </ul>
高齢者と健康	<p>高齢者の疾病と生活上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○骨折、○筋力の低下と動き・姿勢の変化、○関節痛</li> </ul> <p>高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点</p>

	<p>○循環器障害（脳梗塞、脳出血、虚血性心疾患）、○循環器障害の危険因子と対策、○老年期うつ病症状（強い不安感、焦燥感を背景に、「訴え」の多さが全面に出る、うつ病性仮性認知症）、○誤嚥性肺炎、○病状の小さな変化に気付く視点、○高齢者は感染症にかかりやすい</p>
<p>（7）認知症の理解（6時間）</p>	
認知症を取り巻く状況	<p>認知症ケアの理念 ○パーソンセンタードケア、○認知症ケアの視点（できることに着目する）</p>
医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	<p>認知症の概念、認知症の原因疾患とその病態、原因疾患別ケアのポイント、健康管理 ○認知症の定義、○もの忘れとの違い、○せん妄の症状、○健康管理（脱水・便秘・低栄養、低運動の防止、口腔ケア）、○治療、○薬物療法、○認知症に使用される薬</p>
認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	<p>認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴 ○認知症の中核症状、○認知症の行動・心理症状（BPSD）、○不適切なケア、○生活環境で改善 認知症の利用者への対応 ○本人の気持ちを推察する、○プライドを傷つけない、○相手の世界に合わせる、○失敗しないような状況をつくる、○すべての援助行為がコミュニケーションであると考え、○身体を通じたコミュニケーション、○相手の様子・表情・視線・姿勢などから気持ちを洞察する、○認知症の進行に合わせたケア</p>
家族への支援	<p>○認知症の受容過程での援助、○介護負担の軽減（レスパイトケア）</p>
<p>（8）障害の理解（3時間）</p>	
障害の基礎的理解	<p>障害の概念とICF ○ICFの分類と医学的分類、○ICFの考え方 障害者福祉の基本理念 ○ノーマライゼーションの概念</p>
障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	<p>身体障害 ○視覚障害、○聴覚、平衡障害、○音声・言語・咀嚼障害、○肢体不自由、○内部障害 知的障害 ○知的障害 精神障害（高次脳機能障害、発達障害を含む） ○統合失調症・気分（感情障害）・依存症などの精神疾患、○高次脳機能障害、○広汎性発達障害・学習障害・注意欠陥多動性障害などの発達障害 その他の心身の機能障害</p>
家族の心理、かかわり支援の理解	<p>家族への支援 ○障害の理解・障害の受容支援、○介護負担の軽減</p>
<p>（9）こころとからだのしくみと生活支援技術（90時間）</p>	
介護の基本的な考え方	<p>○理論に基づく介護（ICFの視点に基づく生活支援、我流介護の排除）、○法的根拠に基づく介護</p>
介護に関するこころのしくみの基礎的理解	<p>○学習と記憶の基礎知識、○感情と意欲の基礎知識、○自己概念と生きがい、○老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因、○こころの持ち方が行動に与える影響、○からだの状態がこころに与える影響</p>
介護に関するからだのしくみの基礎的理解	<p>○人体の各部の名称と動きに関する基礎知識、○骨・関節・筋に関する基礎知識、○ボディメカニクスの活用、○中枢神経系と体性神経に関する基礎知識、○自律神経と内部器官に関する基礎知識、○こころとからだを一体的に捉える、○利用者の様子の普段との違いに気づく視点</p>
生活と家事	<p>家事と生活の理解、家事援助に関する基礎的知識と生活支援 ○生活歴、○自立支援、○予防的な対応、○主体性・能動性を引き出す、○多様な生活習慣、○価値観</p>
快適な居住環境整備と介護	<p>快適な居住環境に関する基礎知識、高齢者・障害者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法</p>

	○家庭内に多い事故、○バリアフリー、○住宅改修、○福祉用具貸与
整容に関連したところ とからだのしくみと自 立に向けた介護	整容に関する基礎知識、整容の支援技術 ○身体状況に合わせた衣服の選択、着脱、○身じたく、○整容行動、○洗面 の意義・効果
移動・移乗に関連したこ ところとからだのしくみ と自立に向けた介護	移動・移乗に関する基礎知識、さまざまな移動・移乗に関する用具とその活 用方法、利用者、介助者にとって負担の少ない移動・移乗を阻害するこ ところとからだの要因の理解と支援方法、移動と社会参加の留意点と支援、○利用 者と介護者の双方が安全で安楽な方法、○利用者の自然な動きの活用、○残 存能力の活用・自立支援、○重心・重力の働きの理解、○ボディメカニクス の基本原則、○移乗介助の具体的な方法（車いすへの移乗の具体的な方法、 全面介助でのベッド・車いす間の移乗、全面介助での車いす・洋式トイレ間 の移乗）、○移動介助（車いす・歩行器・つえ等）、○褥瘡予防
食事に関連したところ とからだのしくみと自 立に向けた介護	食事にに関する基礎知識、食事環境の整備・食事に関連した用具・食器の活用 方法と食事形態とからだのしくみ、楽しい食事を阻害するところとからだの 要因の理解と支援方法、食事と社会参加の留意点と支援 ○食事をする意味、○食事のケアに対する介護者の意識、○低栄養の弊害、 ○脱水の弊害、○食事と姿勢、○咀嚼・嚥下のメカニズム、○空腹感、○満 腹感、○好み、○食事の環境整備（時間・場所等）、○食事に関した福祉用具 の活用と介助方法、○口腔ケアの定義、○誤嚥性肺炎の予防
入浴、清潔保持に関連し たところとからだのし くみと自立に向けた介 護	入浴、清潔保持に関連した基礎知識、さまざまな入浴用具と整容用具の活用 方法、楽しい入浴を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法 ○羞恥心や遠慮への配慮、○体調の確認、○全身清拭（身体状況の確認、室 内環境の調整、使用物品の準備と使用方法、全身の拭き方、身体の支え方）、 ○目・鼻腔・耳・爪の清潔方法、○陰部清浄（臥床状態での方法）、○足浴・ 手浴・洗髪
排泄に関連したところ とからだのしくみと自 立に向けた介護	排泄に関する基礎知識、さまざまな排泄環境整備と排泄用具の活用方法、爽 やかな排泄を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法 ○排泄とは、○身体面（生理面）での意味、○心理面での意味、○社会的な 意味、○プライド・羞恥心、○プライバシーの確保、○おむつは最後の手段 ／おむつ使用の弊害、○排泄障害が日常生活上に及ぼす影響、○排泄ケアを 受けることで生じる心理的な負担・尊厳や生きる意欲との関連、○一部介助 を要する利用者のトイレ介助の具体的な方法、○便秘の予防（水分の摂取量保 持、食事内容の工夫／繊維質の食物を多く取り入れる、腹部マッサージ）
睡眠に関したところと からだのしくみと自立 に向けた介護	睡眠に関する基礎知識、さまざまな睡眠環境と用具の活用方法、快い睡眠を 阻害するところとからだの要因の理解と支援方法 ○安眠のための介護の工夫、○環境の整備（温度や湿度、光、音、よく眠る ための寝室）、○安楽な姿勢・褥瘡予防
死にゆく人に関したこ ところとからだのしくみ と終末期介護	終末期に関する基礎知識とところとからだのしくみ、生から死への課程、「死」 に向き合うところの理解、苦痛の少ない死への支援 ○終末期ケアとは、○高齢者の死に至る過程（高齢者の自然死（老衰）、癌死）、 ○臨終が近づいたときの兆候と介護、○介護従事者の基本的態度、○多職種 間の情報共有の必要性 ※「Ⅱ. 生活支援技術の学習」においては、総時間の概ね5～6割を技術演 習にあてることとし、その他の時間は、個々の技術に関連したところとから だのしくみ等の根拠の学習及び技術についての講義等に充てること。
介護過程の基礎的理解	○介護過程の目的・意義・展開、○介護過程とチームアプローチ
総合生活支援技術演習	（事例による展開） 生活の各場面での介護について、ある状態像の利用者を想定し、一連の生活 支援を提供する流れの理解と技術の習得、利用者の心身の状況にあわせた介 護を提供する視点の習得を目指す。 ○事例の提示→ところとからだの力が発揮できない要因の分析→適切な支援 技術の検討→支援技術演習→支援技術の課題（1事例1.5時間程度で上のサイ クルを実施する） ○事例は高齢（要支援2程度、認知症、片麻痺、座位保持不可）から2事例 を選択して実施 ※本科目の6～11の内容においても、「14. 総合生活支援技術演習」で選択

	<p>する高齢の2事例と同じ事例を共通して用い、その支援技術を適用する考え方の理解と技術の習得を促すことが望ましい。</p> <p>※本科目の6～11の内容における各技術の演習及び「14. 総合生活支援技術演習」においては、一連の演習を通して受講者の技術度合いの評価（介護技術を適用する各手順のチェックリスト形式による確認等）を行うことが望ましい。</p>
<p>(10) 実習 (計21時間：【介護実習】12時間、【訪問介護サービス同行訪問】6時間、施設見学3時間)</p>	
介護実習	入所施設・事業所又は通所施設・事業所への介護実習
訪問介護サービス同行訪問	居宅サービス等との同行訪問による業務実習
<p>(11) 振り返り (3時間)</p>	
振り返り	<p>○研修を通して学んだこと、○今後継続して学ぶべきこと</p> <p>○根拠に基づく介護についての要点（利用者の状態像に応じた介護と介護過程、身体・心理・社会面を総合的に理解するための知識の重要性、チームアプローチの重要性等）</p>
就業への備えと研修修了後における継続的な研修	<p>○継続的に学ぶべきこと、○研修修了後における継続的な研修について、具体的にイメージできるような事業所等における実例（Off-JT、OJT）を紹介</p>

## 科目別時間数

No.	科目	時間	研修形態
1	職務の理解	6	講義
2	介護における尊厳の保持・自立支援	9	
3	介護の基本	6	
4	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9	
5	介護におけるコミュニケーション技術	6	
6	老化の理解	6	
7	認知症の理解	6	
8	障害の理解	3	
9	9-1 介護の基本的な考え方	2	演習
	9-2 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	5	
	9-3 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	5	
	9-4 生活と家事	6	
	9-5 快適な居住環境整備と介護	6	
	9-6 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	
	9-7 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	9	
	9-8 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	
	9-9 入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	
	9-10 排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	
	9-11 睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	
	9-12 死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	3	
	9-13 介護過程の基礎的理解	3	
	9-14 総合生活支援技術演習	9	
		補講対応	
10	介護実習（3時間は施設見学）	15	実習
	訪問介護サービス同行訪問	6	
11	振り返り	3	
総時間数		165	



## 科目別担当教官名

氏名	担当教科	資格名	現職
山崎 琴美	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職務の理解</li> <li>・介護における尊厳の保持・自立支援</li> <li>・介護の基本</li> <li>・介護・福祉サービスの理解と医療との連携</li> <li>・生活と家事</li> <li>・快適な居住環境整備と介護</li> <li>・振り返り</li> </ul>	介護福祉士	
大澤 智恵子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護におけるコミュニケーション技術</li> <li>・老化の理解</li> <li>・認知症の理解</li> <li>・障害の理解</li> <li>・介護の基本的な考え方</li> <li>・介護に関するこころのしくみの基礎的理解</li> <li>・介護に関するからだのしくみの基礎的理解</li> <li>・死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護</li> </ul>	看護師 介護支援専門員	UD ヘルスケア研究所長
丸山 代志子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護</li> <li>・入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護</li> <li>・介護過程の基礎的理解</li> </ul>	看護師	NPO 法人 生活支援センター オアシス グループ ホーム サン・オアシス
関谷 公典	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護</li> <li>・食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護</li> <li>・排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護</li> <li>・睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護</li> <li>・総合生活支援技術演習</li> </ul>	看護師	NPO 法人 生活支援センター オアシス 悠々オアシス（小規模多機能型居宅介護施設）

## 実習施設

## 介護実習

No.	実習施設名	施設等種別	事業所番号	実習指導者名	受入人数
1	有限会社えにし	通所介護	2071100420	中村 陽介	3人/日
2	中野市デイサービスセンターうまし苑	通所介護	2071100115	小林 里美	2人/日
3	中野市デイサービスセンターつどい苑	通所介護	2071100123	関 まり子	2人/日
4	中野市デイサービスセンターさくら	通所介護	2073500080	小林 誠	2人/日
5	飯山市社協デイサービスセンターゆきつばき	通所介護	2071300053	小林 米子	2人/日
6	デイサービスセンターながでん ハートネット中野別館	通所介護	2071100461	小橋 曜子	2人/日
7	デイサービスセンターながでん ハートネット江部	通所介護	2071100503	小坂 晴美	2人/日

## 訪問実習

No.	実習施設名	施設等種別	事業所番号	実習指導者名	受入人数
1	有限会社えにし	訪問介護	2071100164	中島 咲美	2
2	社会福祉法人中野市社会福祉協議会指定訪問介護支援事業所	訪問介護	2071100032	小林 祥子	2
3	飯山市社協ヘルパーステーションゆきつばき	訪問介護	2071300079	田中 敏子	2
4	北信州みゆき介護センター	訪問介護	2071300459	北川 由香里	2
				西堀 淳子	
5	訪問介護事業所ゆりかご	訪問介護	2071300186	太田 文子	3
6	小布施町社会福祉協議会	訪問介護	2073200038	黒岩 あけみ	2
7	山ノ内町社会福祉協議会指定訪問介護事業所	訪問介護	2073300119	山崎 良子	2

実習中の指導体制・・・実習担当者の指示のもとで介護現場を見学し実習等を行う

## 介護職員初任者研修科 日程表

7月 日	曜日	訓 練 内 容						備考 (昼食)
		午前(9:00~12:00)	研修室	講師	午後(13:00~16:00)	研修室	講師	
1	(日)							
2	(月)							
3	(火)							
4	(水)							
5	(木)	入校式/オリエンテーション	第5		パソコン基礎1	OA	芋川・土屋	
6	(金)	パソコン基礎2	OA	芋川・土屋	就職支援講話1	多目的	青木	
7	(土)							
8	(日)							
9	(月)	1 職務の理解	第5	山崎	1 職務の理解	第5	山崎	
10	(火)	2 介護における尊厳の保持・自立支援	第5	山崎	2 介護における尊厳の保持・自立支援	第5	山崎	
11	(水)	2 介護における尊厳の保持・自立支援	第5	山崎	3 介護の基本	第5	山崎	
12	(木)	3 介護の基本	第5	山崎	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	第5	山崎	
13	(金)	パソコン基礎3	OA	芋川・土屋	就職支援講話2	多目的	青木	
14	(土)							
15	(日)							
16	(月)							
17	(火)	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	第5	山崎	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	第5	山崎	
18	(水)	パソコン基礎4	OA	芋川・土屋	社会保険1	第5	西澤	
19	(木)	パソコンWord基礎1	OA	芋川・土屋	キャリアコンサルティング①			
20	(金)	パソコンWord基礎2	OA	芋川・土屋	キャリアコンサルティング①			
21	(土)							
22	(日)							
23	(月)	社会保険2	第5	西澤	補講対応1			
24	(火)	パソコンWord基礎3	OA	芋川・土屋	パソコンWord基礎4	OA	芋川・土屋	
25	(水)	パソコンネットワーク1	OA	土屋・芋川	パソコンExcel基礎1	OA	土屋・芋川	
26	(木)	パソコンWord基礎5	OA	芋川・土屋	パソコンExcel基礎2	OA	土屋・芋川	
27	(金)	5 介護におけるコミュニケーション技術	第5	大澤	5 介護におけるコミュニケーション技術	第5	大澤	
28	(土)							
29	(日)							
30	(月)	6 老化の理解	第5	大澤	就職支援講話3	多目的	青木	
31	(火)	パソコンWord基礎6	OA	芋川・土屋	パソコンExcel基礎3	OA	土屋・芋川	

介護職員初任者研修科 日程表

8月 日	曜日	訓練内容						備考 (昼食)
		午前(9:00~12:00)	研修室	講師	午後(13:00~16:00)	研修室	講師	
1	(水)	パソコンWord基礎7	OA	芋川・土屋	パソコンExcel基礎4	OA	土屋・芋川	
2	(木)	パソコンExcel基礎5	OA	土屋・芋川	パソコンExcel基礎6	OA	土屋・芋川	
3	(金)	社会保険3	第5	西澤	6 老化の理解	第5	大澤	
4	(土)							
5	(日)							
6	(月)	7 認知症の理解	第5	大澤	キャリアコンサルティング②			
7	(火)	パソコンWord基礎8	OA	土屋・芋川	キャリアコンサルティング②			
8	(水)	パソコンExcel基礎7	OA	土屋・芋川	パソコンネットワーク2	OA	土屋・芋川	
9	(木)	就職支援講話4	多目的	青木	7 認知症の理解	第5	大澤	
10	(金)	8 障害の理解	第5	大澤	9-1 介護の基本的な考え方(2)9-2 介護に関するところのしくみの基礎的理解(1)	第5	大澤	
11	(土)							
12	(日)							
13	(月)							
14	(火)							
15	(水)							
16	(木)							
17	(金)	9-2 介護に関するところのしくみの基礎的理解(3)	第5	大澤	9-2 介護に関するところのしくみの基礎的理解(1)9-3 介護に関するからだのしくみの基礎的理解(2)	第5	大澤	
18	(土)							
19	(日)							
20	(月)	9-3 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	第5	大澤	9-4 生活と家事	第5	山崎	
21	(火)	9-4 生活と家事	第5	山崎	9-5 快適な居住環境整備と介護	第5	山崎	
22	(水)	9-5 快適な居住環境整備と介護	第5	山崎	パソコンWord応用1	OA	高見澤・山崎	
23	(木)	9-6 整容に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	第5	関谷	9-6 整容に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	第5	関谷	
24	(金)	パソコンExcel基礎8	OA	土屋・芋川	パソコンWord応用2	OA	高見澤・山崎	
25	(土)							
26	(日)							
27	(月)	9-7 移動・移乗に関連したところからだのしくみ	多目的	丸山	9-7 移動・移乗に関連したところからだのしくみ	多目的	丸山	
28	(火)	救急法1	第5		社会保険4	第5	西澤	
29	(水)	9-7 移動・移乗に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	多目的	丸山	パソコンネットワーク3	OA	土屋・芋川	
30	(木)	9-8 食事に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	多目的	関谷	9-8 食事に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	多目的	関谷	
31	(金)	パソコンExcel応用1	OA	山崎・高見澤	就職支援講話5	第5	杉本	

### 介護職員初任者研修科 日程表

9月 日	曜日	訓 練 内 容						備考 (昼食)
		午前(9:00~12:00)	研修室	講師	午後(13:00~16:00)	研修室	講師	
1	(土)							
2	(日)							
3	(月)	9-9 入浴、清潔保持に 関連したところとからだの	多目的	丸山	9-9 入浴、清潔保持に 関連したところとからだの	多目的	丸山	
4	(火)	救急法2	第5		社会保険5	第5	西澤	
5	(水)	9-10 排泄に関連したところとからだのしくみと自立 に向けた介護	多目的	関谷	9-10 排泄に関連したところとからだのしくみと自立 に向けた介護	多目的	関谷	
6	(木)	9-11 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立 に向けた介護	第5	関谷	9-11 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立 に向けた介護	第5	関谷	
7	(金)	9-12 死にゆく人に関連したところとからだのしくみ と終末期介護	第5	大澤	就職支援講話6	第5	杉本	
8	(土)							
9	(日)							
10	(月)	9-13 介護過程の基礎的理解	第5	丸山	9-14 総合生活支援技術演習	第5	関谷	
11	(火)	9-14 総合生活支援技術演習	第5	関谷	9-14 総合生活支援技術演習	第5	関谷	
12	(水)	介護実習(施設訪問)			職業人講話			
13	(木)	介護実習			介護実習			
14	(金)	介護実習			介護実習			
15	(土)							
16	(日)							
17	(月)							
18	(火)	救急法3			社会保険6	第5	西澤	
19	(水)	介護記録作成方法等の習 得	第5	山崎	レクリエーション	第5	関谷	
20	(木)	パソコンExcel応用2	OA	山崎・高見澤	パソコンネットワーク4	OA	土屋・芋川	
21	(金)	社会保険7	第5	西澤	就職支援講話7	第5	杉本	
22	(土)							
23	(日)							
24	(月)							
25	(火)	訪問実習			訪問実習			
26	(水)	救急法4	第5		11 振り返り	第5	山崎	
27	(木)	補講対応2			キャリアコンサルティング③			
28	(金)	救急法5	第5		キャリアコンサルティング③			
29	(土)							
30	(日)							

介護職員初任者研修科 日程表

10月 日	曜日	訓 練 内 容					備考 (昼食)	
		午前(9:00~12:00)	研修室	講師	午後(13:00~16:00)	研修室		講師
1	(月)	救急法6	第5		就職支援講話8	第5	杉本	
2	(火)	就職指導	第5	事務局	就職指導	第5	事務局	
3	(水)	補講対応3			就職支援講話9	第5	杉本	
4	(木)	補講対応4			修了式	第5		
5	(金)							
6	(土)							
7	(日)							
8	(月)							
9	(火)							
10	(水)							
11	(木)							
12	(金)							
13	(土)							
14	(日)							
15	(月)							
16	(火)							
17	(水)							
18	(木)							
19	(金)							
20	(土)							
21	(日)							
22	(月)							
23	(火)							
24	(水)							
25	(木)							
26	(金)							
27	(土)							
28	(日)							
29	(月)							
30	(火)							